

ただいま、おかえりって言いあえるまちに

みんな
で
広げよう、
シトラスリボン
プロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

[シトラスリボンプロジェクトについて]

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなんでシトラスカラーが用いられ、地域・家庭・職場（もしくは学校）を表す3つの輪のリボンや専用ロゴを身につけて、

「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。**「ただいま」「おかえり」**と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにもつながります。

また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

南丹市と南丹市人権教育・啓発推進協議会では、この運動の理念に賛同し、新型コロナウイルスに関わる医療従事者や感染者及びその家族の方々に対して、家庭、地域、職場・学校などそれぞれの立場からおもいやりの心をもって対応できるようなひと・まちづくりを進めていきます。

[賛同していただける方へ]

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（「医療従事者」・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまち・地域・職場でありますように。

あなたの住むまち・地域・職場でそんな想いを共有していただける方に次にご紹介する方法でエールを送っていただけると嬉しいです。

- ① シトラスカラー＝柑橘をイメージした色のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。
- ② その材料で「地域・家庭・職場 (or 学校) など」を示す「三つの輪」をつくれば、

「シトラスリボン」のできあがり。
結び方は「飾り結び」「小花結び」「アジアンノット」「総角結び」、などと呼ばれるものを参考にしてみてください。



- ③ この「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。
周りの方々に「元気ですか?」「また会いましょう!」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。
- ④ リボンの画像をSNS で発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。

ただいま # おかえり # っていいあえるまちに

#citrusribbonfromehime #COVID19 # コロナに負けるな

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。

今や、どこにいても何をしていても、いつだって、だれだって感染のリスクはゼロではありません。

感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要になると同時に、だれもが、少しでも心のびやかに暮らせるようなまちのあり方が、今こそ問われているのかもしれません。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。

でも、もうひとつ、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

「ただいま」・「おかえり」。お互いにそんなふう言いあえる、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られるまちなのだと思います。

わたしたちの暮らしを守るために、日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて、「ただいま」・「おかえり」って言いあえるひとの輪を、このまちでもつくりましょう。

Citrus Ribbon PROJECT

シトラス色(柑橘をイメージ)のリボンや紐で、三つの輪をつくる「シトラスリボン」。このリボンやロゴを付けて賛同の気持ちを表現しています。全国に活動の輪が広がっている様子は、下記サイトでご紹介。シトラスリボンの作り方なども掲載しています。

Facebook : citrusribbonfromehime

お問合せ: citrusribbonfromehime@gmail.com (ちよびっと19+)

詳しくはWebで！

シトラスリボンプロジェクト

検索

